



シルバーク ふじえだ

平成24年3月31日

第47号

発行

社団法人

藤枝市シルバー人材センター

藤枝市藤枝五丁目3番20号

☎054-641-5565

会員数 男710名・女413名

計 1,123名 (2月29日現在)

印刷 株式会社石垣印刷



働くお母さんを
応援する

「わんぱくふじっこ」



子育て支援

わんぱくふじっこ

平成22年度からシルバー人材センターでは、「わんぱくふじっこサポート事業」を立ち上げ活動しています。

建物の耐震工事の終了と同時に、待望の子育て一時預かりルームが完成し、2月7日にオープンいたしました。

小さな子どもの一時預かり施設は、他にもありますがまだまだ少ないのが現状です。

シルバー人材センターは、街の中心部にあり交通の便もよく、また、保母の経験のある会員などスタッフを揃えて、子育て支援のニーズに応えています。

職員と会員による手作りのオモチャ、絵本などたくさん揃え、ベッドも備えてあります。

お預かりしたお子さんの元気な様子を見るとうれしく思います。

まだまだPR不足ですが、皆様を知っていただけるよう頑張っています。お近くにおいでの際は、シルバー人材センターにお立ち寄りの上、ご覧になってください。お待ちしております。



第五十五回通常総会に、大勢の皆さんがご出席くださり、本当にありがとうございます。

本総会に、北村市長をはじめご来賓の皆様が、ご多忙中にもかかわらずご臨席をいただきますまして、心からお礼申し上げます。

当センターの平成二十三年度

の事業運営は、藤枝市の理解あるご配慮により、まずまずの実績をあげることができました。この席をお借りしまして、市のご厚意に厚く感謝申し上げます。市のご厚意に厚く感謝申し上げます。ここ数年、シルバー事業は厳しくなっていますが、その



公益社団法人として新たなスタート 会員の就労の機会拡大

理事長 大井市郎

原因は、世界経済の冷え込みであり、加えて、東日本大震災や台風による集中豪雨など、様々な災害が影響しています。

このような状況の中で、シルバー事業へ民間企業からの

受注が少なくなり、事業収入も減りましたが、役員・職員が知恵を絞り、事務事業の総点検を行い、運営の「自立」に向けて努力し、各企業・事業所のご理解ご協力もいただきながら、健全な運営に努めてまいりました。

平成二十四年度は、「公益社団法人」として新たなスタートをします。センターの事業をさらにより効率的に、皆さんのお役に立つように充実したいと考えています。

今後も、会員の働く職場として、就労の機会を広げ、また、職場で事故がないように安全就労をお願いしたいと思います。

本年も、会員の皆さんの一層のご理解とご協力を、よろしくお願い致します。

第55回 通常総会

元気な
シルバー

平成二十四年度の 事業と予算を承認

私たちの知識と経験を活かそう

第五十五回の通常総会が、二月十一日（土）午後一時から市民会館ホールにおいて開催されました。

この総会には、会員・七百五十六名（書面評決者を含む）が参加し、ご来賓として北村藤枝市長をはじめ、池田市議会議長、佐野・落合県議会議員、天野市議会経済消防常任委員長のご臨席をいただいで盛大に行われました。

本総会には、議案として平成二十四年度の事業計画と収支予

今年の事業計画

第二次中長期計画が、平成二十三年度からスタートしました。

この目標は、会員の増強・就業機会の拡大・安全適正な

就業対策・健全財政の確立・地域社会への貢献などを重点項目として、「仕事が活力を生む・元気なシルバーづくり」を目指し、自主・自立・協働・共助の基本理念の基に、センターの将来像に向けて取り組む計画です。

しかし、昨今の社会情勢は、欧州の債務危機や円高・東日本大震災などにより、社会全体の環境は厳しく景気の回復や雇用の拡大は、混沌とした状況が続いています。

平成24年度収支予算（単位：千円）

(1) 収入		(2) 支出	
会費収入	2,232	事業費	
事業収入	421,580	就業機会提供事業費	398,299
補助金等収入	30,902	企画提案・介護事業費	40,370
その他収入	364	その他支出	206
		管理費	
		法人管理費	16,203
収入合計	455,078	支出合計	455,078

このような中で、当センターの現状は、民間事業所からの受注が六割以上を占めていますので、これからの事業運営は大変ですが、受注の拡大に努めなければなりません。

八つの基本方針

①会員の増強と就業機会の開拓
会員の募集や入会の勧誘を積極的に行い、また、業務の受注については、民間企業や自営業主・町内会・民生委員

算(案)の二議案が提案され、いずれも全会一致で可決・承認されました。

また、藤枝市シルバー人材センターは、静岡県知事の認可を得て、本年四月から「公益社団法人」に移行します。

法人名は「公益」ということとなりますが、センターの仕事や運営は今までと同じです。私たちの仕事は、より広く地域社会のためになる事業として認められ期待されますので、より一層努力しなければなりません。

私たち会員は、これまでに培ってきた豊富な知識と経験を活かし、元気な高齢者としてお互いに協力しながら、地域の皆さんから喜ばれ、感謝されるように、「生きがい」をもって活躍していただきたいと思っております。



シルバー人材センター総会
おめでとうございます。

会員の皆さんには、常日頃から市政全般にわたりご尽力をいただき、そして、今日はお元気な様子を拝見しまして、本当にうれしく思います。



平成二十三年、この一年間は、大きな

出来事が色々ありました。何と云っても東日本大震災・原発事故と世界的な不況・経済の問題です。

こういう大変な時に、国も地方も行政が果たす役割・使

の皆さんに、役員や開拓専門委員が訪問して、就業機会の確保に努めます。

② 安全就業と適正就業

会員の就業中の事故や交通事故の防止、また健康管理の注意を徹底するために、安全就業基準による講習会などを開催して安全確保に努めます。

③ 技能会員の拡大・会員の技術向上

業務の内容が、専門的な技術・技能を必要とする仕事が増えていますので、資格のあ

る会員の把握に努め、また、技能講習会の開催や福祉家事援助サービス事業などの講習会を実施して、支援事業の内容の充実を図ります。

④ 効率的な組織運営・財政基盤の確立

会員の声を反映したセンターづくりに役員が皆さんが尽力されていますが、事業収入が厳しく、補助金の削減が予想される中で、事務事業の見直しや自主財源の確保を図るなど、健全な財政運営に努めます。

⑤ 介護保険事業の推進

高齢者の在宅介護支援や訪問介護の事業を、さらに充実して介護する家族に安心していただけるサービスの提供を充実させ、また、子育て支援事業も推進します。

⑥ 福祉・家事援助サービス

介護保険の対象にならない福祉・家事援助として、高齢者の日常生活をサポートする活動や、身体障害者等の外出支援・生活支援事業の充実に努めます。

⑦ センターの普及啓発

シルバー人材センターの事業について、市民の皆さんの理解と認識を高め、事業の内容についても広く周知することが大切です。

そのための情報媒体として「シルバーふじえだ」や「ふれあいネット」を発行して普及啓発に努めています。

⑧ ボランティア活動

会員の理解と協力のもとで、公共施設の清掃作業や子どもたちの安全見守り活動などに参加して喜ばれています。これからも奉仕作業など、自主的に地域への貢献に努めましょう。

命の重要さを強く思います。

また、大震災の被災地を見て「人間の生きがいとはどういうものか。」改めて考えさせられました。

「生きがい」とは、まず自

地域に貢献するシルバー 健康で皆さんの絆を大切に

藤枝市長 北村正平

りません。

分が健康であることが第一です。そして、この健康な生活の中から、多くの人と触れ合

い、地域の皆さんとの絆を大切に、人のために・地域のために、役立つことをする

さて、本年の藤枝市を展望しますと、大きな転換期の年になると思います。

四月に新東名が開通し、インターチェンジやパーキングエリアが出来ます。そして、

ことだと思えます。そのためには、行政も先頭に立たなければなりません。今年、日本全体を再生するために国政の安定・東北地方の真の復興への取り組み

に、私たちに、私も出来る限り努力をしなければなりません。

会員の皆さんが健康で、生きがいをもって、これからも多くにご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。

今後、シルバー人材センターの益々の充実・発展を祈念いたしまして、総会のお祝いの言葉といたします。

